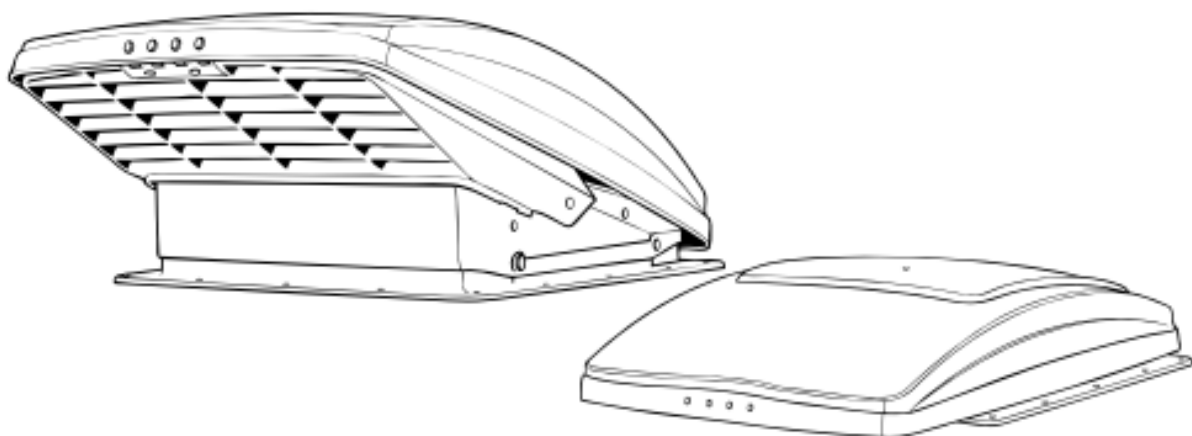


# MAXXFAN®

## INSTALLATION INSTRUCTIONS, INFORMATION AND OPERATING GUIDE FOR ALL MAXXFAN® Deluxe MODELS



**Model : 5100K / 6200K / 7000K / 7500K / 7000KI40 / 7500KI40**

取り付け前に、本説明書の指示をよく読み作業してください。

MAXXFAN KIモデルは、355mm x 355mm

MAXXFAN KI40 モデルの場合は 400mm x 400mmの標準RVルーフ開口部に取り付けます。

ルーフ開口部のサイズが正しいかどうかを判断するには、既存のルーフベントの内部天井ガーニッシュトリムリングを取り外して天井開口部を確認するか、MAXXFAN内部ガーニッシュトリムリングを開口部にスライドさせて開口部が十分に大きいことを確認します。車両の後方に面する排気/吸気ルーバーのため、MAXXFANには、既存の標準ルーフベントフランジアウトターの後方に少なくとも8インチ（20.32cm）のエアコンや収納ボックスなどの障害物のないルーフエリアが必要です。

MAXXFANは、MAXXFAN は、最小 25 mm、最大 90 mm のルーフ厚さで設計されています。ルーフの厚さが 25 mm 未満の場合は、木材またはその他の適切な材料を使用して天井開口部に追加の厚さを作ります。

MAXXFANの動作には、DC12V 5Aが必要です。（Min/Max 10.5V/14.8V）使用する回路が追加の負荷に対応できることを確認してください。

電気接続には、適切なゲージのヨリ線を使用してください。

**\* 走行中はリッドを閉じて下さい。**

**走行中の振動や風圧でギアやリッドを破損する場合があります。**

**（シーリングファンモードで換気は出来ます。）**

# INSTALLATION INSTRUCTIONS - ALL MODELS

## STEP1 (5100K/6200K/7000K/7500Kの場合)

MAXXFANには、355mm x 355mmの屋根開口部が必要です。すでに取り付けられている別のタイプを交換する場合は、古い既存のルーフレシーピングフランジを取り外します。屋根の開口部の周り全体で最低2インチの古い屋根用シーラントをすべて取り除きます。

MAXXFANルーフレシーピングフランジ (参照写真#2) をルーフレ開口部に配置し、その周りに鉛筆の線をトレースして、必要となるクリーンなシール領域を確認します。ルーフレシーピングフランジは、金属クリップが車両の側面に面するように (ルーフレの前面または背面に面するのではなく)、ルーフレ開口部の中央に配置する必要があります。ことに注意してください。

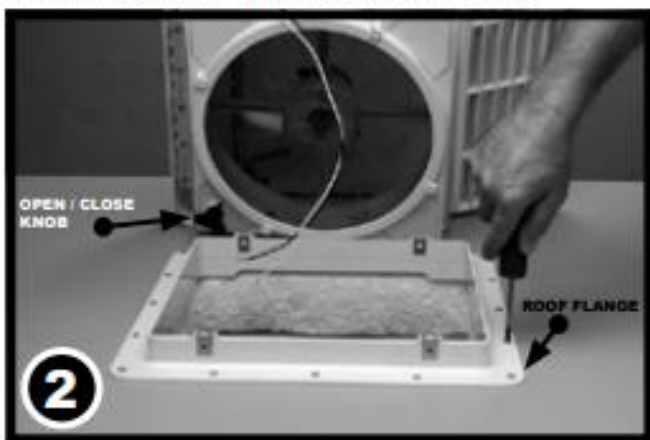
注意：ルーフレフランジを取り付けるときは、フランジ (プラスチック製品) およびルーフレ表面に適したコーキング/シーラントのみを使用してください。キシレン、トルエン、メチルエチルケトン、アセテート、アセトンなどの溶剤を含む材料はフランジを損傷する可能性があります。使用しないでください。また、ポリサルファイド (チオコール) タイプのシーラントは避けてください。G.E.などのシリコンシーラント 屋外用途に使用されるシリコンII (塗装不可) は、この設置に適していることが証明されています。不明な点がある場合は、詳細についてRVの製造元にお問い合わせください

## STEP2

鉛筆などでルーフレをなぞった部分にシーラントまたはコーキングを塗ります。浸水の可能性がありますので隙間が無いように慎重に作業してください。付属のネジを使用して、ルーフレシーピングフランジをルーフレに固定します。ネジ頭部とルーフレフランジのエッジ周りにルーフレシーラントを塗布します。

注意：MAXXFANに接続する際は、車両の主電源は必ず切ってください。

注：STEP3に進む前に、MAXXFANを完全に開く必要があります。ノブを回してベントリッドを完全に持ち上げます。マニュアルモデルでは、ノブを引き出してロックを解除してからノブを回して下さい。



## STEP3

付属の絶縁された電気コネクタを使用して、車両の12ボルトの電源をMAXXFANの電源線 (POS+) 黒=12Vプラス 白=アースに接続します。

注：(POS+) タグの黒いワイヤーを車両の12ボルト (+) 電源に接続してください (電圧Min/Max 10.5V/14.8V)

## STEP4

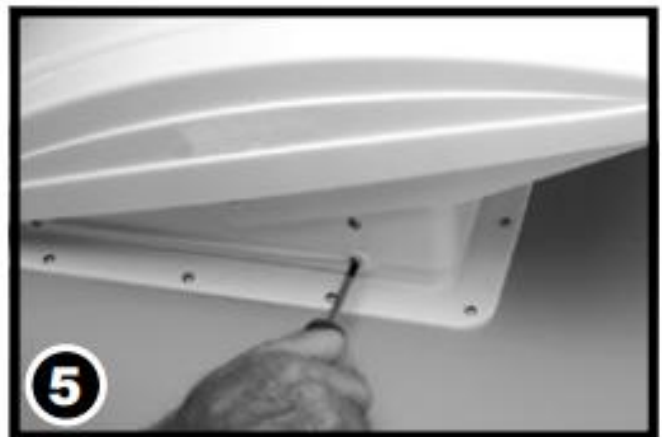
4つの金属製取り付けクリップがルーフレシーピングフランジにしっかりと固定されていることを確認して下さい。MAXXFANを開き、排気/吸気ルーバーを車両の後方に向けた状態で、MAXXFANをルーフレシーピングフランジに降ろします。電源線が車内にスライドし、ルーフレシーピングフランジに巻き込まれないようにして下さい。



## STEP5

MAXXFANがルーフレシーピングフランジに完全に装着されていることを確認し、付属の3/4インチ #10ステンレス鋼ネジ4本を使用してMAXXFANをルーフレシーピングフランジに固定します。

注意：取り付けには、付属のネジのみを使用してください。内部の損傷や取り付けが不安定になる可能性があります。



これで、屋上部分の設置が完成します

注：12ボルトの車両電源をONにします  
MAXXFANは、電源が正しく接続されていることを示すビープ音が鳴ります。  
リモートコントロールモデルは自動的にベントカバーが閉じます。  
電源を接続してもMAXXFANがビープ音を鳴らさない場合は、STEP3に戻り、配線の接続部分を点検してください。12ボルトの電源がオンで利用可能であることを確認します。  
MAXXFANは、回路基板に自動リセットヒューズを組み込んでいます。  
電源を切って再投入することでリセットできます。



# INFORMATION AND OPERATING GUIDE

## KEYPAD FOR MAXXFAN® Deluxe MODELS

Model : 5100K / 6200K / 7000K / 7500K / 7000KI40 / 7500KI40

### **KNOB, VENT LID OPEN/CLOSE**

#### **Manual Opening Models**

ノブを引っ張ってロックを解除します。  
ノブを時計回りに回しベントリッドを閉じます。  
ノブを反時計回りに回して、ベントリッドを開きます。  
ベントリッドが開いているか閉じているときに「IN」を押してロックします。

#### **Automatic Opening Models**

RVの電力が失われた場合にベントリッドを閉じることができません。

このノブはロックされません。

押し込んだり引き出したりしないでください。

ノブを時計回りに回してベントリッドを閉じます。

ノブを反時計回りに回して、ベントリッドを開きます。

ノブを操作するときは、無理な力を加えないでください。



### **KEYPAD CONTROLS**

Use Keys on Keypad to control MAXXFAN functions (see descriptions on next page).

注：すべてのモデルにIRセンサーがあるわけではありません

### **INSECT SCREEN RETAINER KNOB**

4つのノブすべてを1/2回転させて、防虫ネットを取り外します。

注意：防虫ネットを取り外した状態でファンを操作しないでください

### **THERMOSTAT TEMPERATURE SENSOR**

### **CEILING FAN MODE**

ファンモーターが作動している状態で、ベントリッドを閉じてシーリングファンモードに入ります。

ファンモーターは引き続き作動し、RVキャビン内の空気を循環させます。

### **SERIAL NUMBER LABEL**

シリアル番号のラベルは、防虫スクリーンの下にあります。

注：MAXXFANは、車両の移動中に完全に開くか完全に閉じるように設計されています。

注意：クリーニングのために防虫ネットを取り外すときは、MAXXFANのスイッチをオフにして、MAXXFANの電源線を取り外してください。

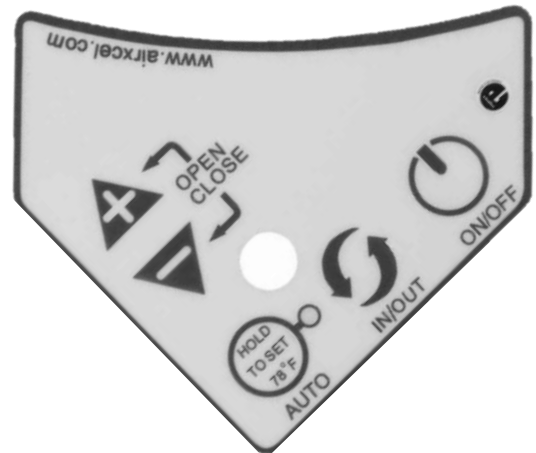
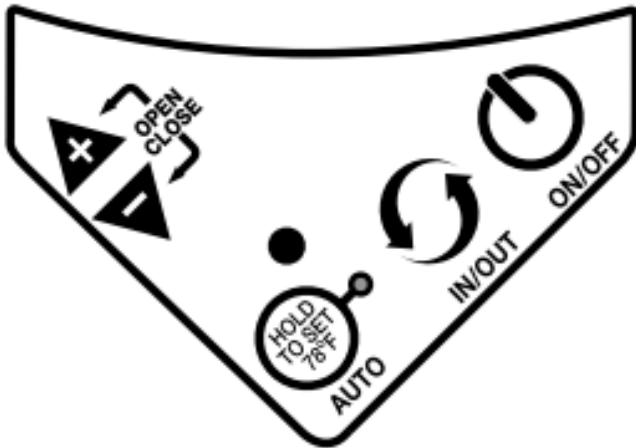
MAXXFANをクリーニングするときは、中性洗剤溶液のみを使用してください。

# KEYPAD CONTROLS KEYPAD CONTROLS

## KEYPAD FOR MAXXFAN® Deluxe

5100K / 6200K

7000K / 7500K  
7000KI40 / 7500KI40



注：ビープ音は、各キーが押されたことを確認します



**ON/OFF**  
オン/オフ：このキーを使用して、ファンの始動、ファンを停止します。  
自動開閉モデルでは、ファンがオンまたはオフになると、蓋も開閉します。  
手動開閉モデル；自動モードでこのキーを押すと自動モードを終了し、ファンをオフにすると、蓋は選択した位置に留まります。  
自動開閉モデル；自動モードを終了し、ファン電源をオフにして、蓋を閉じます。



**IN/OUT**  
IN / OUT：このキーを使用してファンの回転を切り替えます。ファンは減速し、約2秒間一時停止してから、反対方向に回転します。  
注：自動モードでは、ファンの方向は自動的に排気になりますが、このキーを押すと、オーバーライドされて吸気に変更される場合があります。  
注意：このキーは排気専用モデルで削除されました



**AUTO**  
AUTO：自動モードでは、サーモスタットの設定に応じて、サーモスタットでファンのオンとオフを切り替えることができます。  
このキーを短く1回押すと、自動モードに入ります。ビープ音が3回鳴り、MAXXFANが自動モードに入ったことを確認できます。自動モードを終了するには、ON / OFFキーを押します。

サーモスタットの工場出荷時の初期設定値は78° F / 25° Cです。

緑色のLEDが点灯して、MAXXFANが自動モードになっていることを示します。

調整するには、以下の手順に従ってください。以前のサーモスタット温度が入力されていない場合、または誤った設定温度を変更したい場合は、HOLD TO SETキーを3秒以上押すと、長いビープ音が1回鳴り、サーモスタットはリセットされます。78° F。設定温度をさらに調整するには、必要に応じて、(+) または (-) 矢印キーを使用して、押しごとに1° 刻みで調整します。

この設定を確認するためにビープ音が鳴ります。

以前にサーモスタット温度が入力された場合、ファンはこの温度設定を記憶し、次に自動モードに入ると、サーモスタットの指示に従ってファンが自動的に換気を開始します。

ファンの速度は、キャビンの温度に基づいて自動的に調整されます。キャビンの温度が上昇すると、ファンの速度が上がります。

注：12ボルトのRV電源が切れると、サーモスタットは78° F / 25° Cにリセットされます。



矢印-自動モードの場合：(+) および (-) 矢印キーを使用して、サーモスタットの設定温度を1回押しごとに1° ずつ調整します。

手動モードの場合：(+) および (-) 矢印キーを使用して、ファンの速度を調整します。

ファンの速度が最大速度または最小速度に達すると、ファンは2回の速いビープ音で応答してこれを示します。

一矢印キーを同時に押すー

自動リフトモデルのみ (+) と (-) の矢印キーを同時に押して、蓋を開閉します。

ファンモーターは現在の状態のままになります。

KEYPADCONTROLSKEYPADFORMAXXFAN®Deluxe 吸気/排気モデル 5100K、6200K、7000K、7500K、

# REMOTE CONTROL OPERATING GUIDE

## WIRELESS REMOTE CONTROL FOR

### MAXXFAN® Deluxe MODELS 7000K • 7500K



ファン電源

- ファンをオンにする
- ファンをオフにする
- 自動モードを終了する



ベントリッドの位置-このボタンを押して、ベントリッドを開閉します  
 •ファンが手動モードで動作しているときに、1回押してベントリッドを閉じ、「シーリングファン」モードに入ります。  
 注：このボタンは、自動モードではアクティブではありません。

電源または電源がファンから取り外されている場合は、天井にあるノブを使用して、必要に応じてベントリッドを手動で開閉します。



排気/吸気-

このボタンを押してファンの回転変え、吸気または排気が出ます。  
 注：自動モードでは、ファンの方向は自動的に排気になりますが、このキーを押すと、オーバーライドされて吸気に変更される場合があります。



ファン自動モード-このボタンを押して自動モードに入ります  
 •自動モードでは、ファンの蓋が自動的に開き、サーモスタットの設定温度の指示に従ってファンモーターが動作します。  
 キャビンの温度が下がり、設定温度に達すると、ファンの蓋が閉じ、ファンモーターが停止します。

•自動モードでこのボタンを押すと、自動モードがオフになり、ベントリッドが閉じてファンモーターがオフになります。



サーモスタット設定温度

TEMP+~このボタンを押すと、自動モードの設定温度が上がります。

TEMP-~このボタンを押すと、自動モードの設定温度が下がります。

注：サーモスタットの温度範囲は、29° Fから99° Fまたは-2° Cから37° Cです。  
 温度表示で華氏から摂氏に変更するには、両方の設定温度キーを同時に押し続けます。



ファン回転速度

ファン速度(+)-このボタンを押すと、ファン速度が上がります。



\*ファンには10の速度があります。  
 ファン速度(-)-このボタンを押すと、ファン速度が低下します。

注：ファンの速度が最大速度または最小速度に達すると、ファンは2回の速いピープ音で応答してこれを示します。



#### LOW BATTERY

バッテリー低下インジケーター

- バッテリーがフル充電されると、3本の黒い電源バーが表示されます。
- 表示される1つまたは0の電源バーは、電池を交換する必要があることを示します。

#### TRANSMISSION SIGNAL

送信信号

- この記号は、ボタンが押されたときに画面に表示され、信号がファンに送信されたことを示します。
- 天井ユニットからのピープ音は、リモコンからの信号がファンによって受信されたことを示します。

